



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社バイテック

上場取引所 東

コード番号 9957

URL <http://www.vitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 今野 邦廣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 理財部門 部門長

(氏名) 成瀬 達一

TEL 03-3458-4619

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	81,286	1.8	1,240	99.4	1,341	102.7	1,066	177.5
25年3月期第3四半期	79,816	△14.4	622	△14.2	661	△17.6	384	38.3

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,415百万円 (235.4%) 25年3月期第3四半期 422百万円 (190.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	84.57	—
25年3月期第3四半期	32.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	40,525	11,831	29.2	845.10
25年3月期	34,069	9,320	27.4	796.98

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 11,826百万円 25年3月期 9,319百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	17.4	1,700	84.2	1,700	90.6	1,150	84.1	88.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	14,376,358 株	25年3月期	12,076,358 株
26年3月期3Q	382,457 株	25年3月期	382,437 株
26年3月期3Q	12,613,911 株	25年3月期3Q	11,694,007 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の関連事項については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 .....	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策、公共投資の増加等により、株価の回復や円安、雇用改善につながり、景気は緩やかな回復基調を辿りました。また、個人消費が持ち直し、企業業績も改善傾向となりました。

エレクトロニクス・情報通信分野では、国内で市場を牽引してきたスマートフォンの販売が鈍化傾向にあります。引き続きタブレット端末や省エネ型白物家電等の販売が好調に推移しました。デジタルカメラについては、特にコンパクトカメラがスマートフォンの普及により販売低迷が続きました。

環境・エネルギー分野では、再生可能エネルギー固定価格買取制度を追い風に、ソーラーエネルギーによる発電事業を中心とした業界の成長が見られました。

このような状況下、当社グループでは好調な自動車業界を背景に車載向けICの販売が伸びているほか、マルチファンクションプリンタ向け等のCPUの販売が好調に推移しました。また、太陽光パネル販売や売電収入が売上に貢献しました。一方、顧客の生産台数見直しによるデジタルカメラ用イメージセンサの販売が減少し、仕入先メーカーの再編に伴う商流変更により、デジタルカメラ向けに小型液晶パネルの取扱いが減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は81,286百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面につきましては、粗利益率の改善もあり経常利益は1,341百万円（前年同期比102.7%増）、四半期純利益は1,066百万円（前年同期比177.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### 1. デバイス事業

デバイス事業につきましては、デジタルカメラ向けイメージセンサの販売減や仕入先メーカーの再編に伴う商流変更により小型液晶パネルの取扱いが減少しましたが、自動車市場の好調を受け、カーオーディオ用DSP（チューナーIC）および当期より取扱いを開始したカーナビ用GPSモジュール等の販売が好調に推移したほか、マルチファンクションプリンタ、放送機器向けCPUや、STB（TV接続機器）向けIC、照明向けLEDパッケージ、液晶向け透明電極材料の販売が拡大しました。計測機器販売ではカーオーディオ評価用汎用機や、電磁波測定器の販売金額が伸びました。

その結果、デバイス事業の売上高は79,012百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は1,116百万円（前年同期比62.0%増）となりました。

#### 2. 環境エネルギー事業

環境エネルギー事業につきましては、性能や価格面で競争力のある環境商材をグローバルに調達する独自の商社機能を駆使し、システムインテグレーターとして地方自治体向けのメガソーラー発電設備の企画設計、建設、運営、保守管理に加え電力売買を行う新電力事業までを一貫して手掛ける事業を確立してまいりました。2013年3月に当社が事業主となって2カ所の発電所を稼働し発電事業に参入したほか、2013年度中にさらに7カ所のメガソーラー発電所が稼働する予定となっております。また2013年3月に設立した新電力会社 株式会社V-Powerでは、電力購入および売電をスタートしたほか、群馬県中之条町が2013年8月に設立した新電力会社 中之条電力に出資し、業務の全面的サポートを行う等、地域のエネルギー地産地消を推進しております。

当第3四半期連結累計期間は、太陽光パネル、パワーコンディショナーを始めとした発電ビジネス関連商材の売上が堅調に推移したほか、発電所の売電収入、防犯灯の販売が売上に寄与しました。

その結果、環境エネルギー事業の売上高は2,274百万円（前年同期比27.1%増）、セグメント利益は124百万円（前年同期は66百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から6,456百万円増加し40,525百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末から3,945百万円増加し28,693百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より2,511百万円増加し11,831百万円となりました。これは公募増資により資本金及び資本剰余金が増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間より、株式の追加取得に伴い、株式会社コクホーシステムを持分法の適用範囲に含めております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,262,464	2,308,513
受取手形及び売掛金	15,251,252	18,473,437
たな卸資産	9,470,265	10,804,100
未収入金	446,304	643,829
繰延税金資産	481,113	492,789
その他	483,839	591,089
貸倒引当金	△37,028	△39,901
流動資産合計	27,358,210	33,273,857
固定資産		
有形固定資産	5,014,354	5,526,704
無形固定資産		
ソフトウェア	79,148	76,781
のれん	—	41,850
その他	103,116	55,591
無形固定資産合計	182,264	174,223
投資その他の資産		
投資有価証券	128,800	229,129
長期貸付金	68,528	65,482
繰延税金資産	786,334	574,035
その他	585,151	735,976
貸倒引当金	△54,354	△53,854
投資その他の資産合計	1,514,460	1,550,770
固定資産合計	6,711,078	7,251,698
資産合計	34,069,289	40,525,556

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,030,397	13,096,614
短期借入金	7,641,895	11,077,229
1年内返済予定の長期借入金	940,000	640,000
リース債務	77,398	117,132
未払法人税等	118,986	113,467
賞与引当金	277,013	188,048
その他	991,729	659,125
流動負債合計	22,077,419	25,891,618
固定負債		
長期借入金	770,000	400,000
リース債務	1,275,269	1,919,590
繰延税金負債	39,439	67,793
退職給付引当金	215,590	242,104
資産除去債務	90,608	131,371
負ののれん	187,555	—
その他	92,837	41,471
固定負債合計	2,671,301	2,802,331
負債合計	24,748,721	28,693,949
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,503,864	5,244,234
資本剰余金	1,699,398	2,439,768
利益剰余金	3,504,020	4,185,410
自己株式	△231,589	△231,606
株主資本合計	9,475,693	11,637,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,556	36,394
繰延ヘッジ損益	△153,545	△43,803
為替換算調整勘定	1,187	195,898
その他の包括利益累計額合計	△155,914	188,489
少数株主持分	788	5,308
純資産合計	9,320,568	11,831,606
負債純資産合計	34,069,289	40,525,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	79,816,681	81,286,666
売上原価	74,831,369	75,310,864
売上総利益	4,985,311	5,975,802
販売費及び一般管理費	4,363,170	4,735,178
営業利益	622,140	1,240,623
営業外収益		
受取利息	3,274	1,319
受取配当金	1,360	1,288
負ののれん償却額	229,406	229,406
デリバティブ評価益	6,687	—
持分法による投資利益	—	41,042
その他	57,365	50,921
営業外収益合計	298,095	323,978
営業外費用		
支払利息	58,987	93,239
債権売却損	43,579	21,627
為替差損	109,154	58,246
株式交付費	—	17,239
その他	46,919	33,248
営業外費用合計	258,641	223,601
経常利益	661,594	1,341,000
特別利益		
固定資産売却益	—	7,706
特別利益合計	—	7,706
特別損失		
投資有価証券評価損	2,288	—
特別損失合計	2,288	—
税金等調整前四半期純利益	659,306	1,348,707
法人税、住民税及び事業税	91,202	130,421
法人税等調整額	183,754	147,058
法人税等合計	274,957	277,479
少数株主損益調整前四半期純利益	384,349	1,071,228
少数株主利益	—	4,520
四半期純利益	384,349	1,066,707



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	384,349	1,071,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,551	39,950
繰延ヘッジ損益	25,340	109,741
為替換算調整勘定	24,921	194,710
その他の包括利益合計	37,711	344,403
四半期包括利益	422,060	1,415,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422,060	1,411,111
少数株主に係る四半期包括利益	—	4,520

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年9月17日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行2,000,000株により、資本金および資本準備金がそれぞれ643,800千円増加しております。また、平成25年9月26日を払込期日とする有償第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式発行300,000株により、資本金および資本準備金がそれぞれ96,570千円増加しております。これらにより、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,244,234千円、資本準備金が2,439,768千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	デバイス事業	環境エネルギー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	78,027,309	1,789,372	79,816,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	78,027,309	1,789,372	79,816,681
セグメント利益又は損失(△)	688,971	△66,830	622,140

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	デバイス事業	環境エネルギー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	79,012,592	2,274,073	81,286,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	79,012,592	2,274,073	81,286,666
セグメント利益	1,116,472	124,151	1,240,623

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、環境エネルギー事業の強化を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「デバイス事業」及び「環境エネルギー事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。